

テーマ

10年後も住みたいまちにするために、私たちができること

大きな力になるために

六年 野の第二小学校
 田 経太郎

私は、このテーマ「10年後も住みたいまちにするために、私たちができること」に対し、10年後も住みたいまち、という言葉に注目しました。10年後も住みたいって何だろう。私は連想ゲームのように考えをふくらませていき、一つの突破口に、たどりついた。それは、地域の方々の明るさや温かさだ。武蔵野

東京武蔵野ロータリークラブ

市は、自然がいっぱい。その自然を見て、みんな明るくなる。私は思う。そのおかげが、武蔵野市の人は一みんな明るい。しかし、設備はありながら、お年寄り、障害者の方々は、親族のおそき、関係者うとしな、これが武蔵野市の弱点だ。個人的な見解として、前述した通り、武蔵野市の弱点は、お年寄り、又は障害者に関わらないことだと思ふ。そう、心の中にバリアを張っているのだ。しかしこのバリアを無くす、すなわち心の中

- 作文の題名・学校名・学年・名前（ふりがな）を書いてください。
- 小学生は、原稿用紙2枚以内以内、中学生は、原稿用紙4枚以内。

応募について詳しくはサイトでご確認ください。
m-rotary.org



- 1 貧困をなくそう
- 2 飢餓をゼロに
- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 5 ジェンダー平等を表現しよう
- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 10 人や国の不平等をなくそう
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくる責任 つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさを守ろう
- 16 平和と公正をすべての人に
- 17 パートナシップで目標を達成しよう



テーマ

10年後も住みたいまちにするために、私たちができること

バリアフリーにするのが大事なのだ。実際
 ノンステップバスなどの、街の中のバリアフ
 リーは、私たち子どもで整備出来るわけがな
 い。では、とうしたらバの中もバリアフリー
 にできるのだろうか。簡単だ。積極的に挨拶
 するだけだ。幸い、武蔵野市は老人ホームが
 多い。私たちが通う、第二小学校への通学路
 にも一つだけがある。そこを出てきた方々に、
 「おはようございます」というだけだ。それ
 を毎日やっていけば、どんどん件がよくなり

東京武蔵野ロータリークラブ

どんどん自分たちの学校へ行事に来てくれる
 だろう。しかし、これはあくまで子どもとの話
 だ。はずかしくて中々あいさつできな大人
 も、多くいることだろう。そこでまずは、交
 流できるイベントに積極的に参加することだ。
 これならはずかしくなく、効率的に色々な
 人と仲よくなれる。
 最後に、色々な人と関わることで自分の価
 値感がいよいよ方向へ変わる。なのでこれを機に
 心の中もバリアフリーにしてほしい。

● 作文の題名・学校名・学年・名前（ふりがな）を書いてください。

● 小学生は、原稿用紙2枚以内以内、中学生は、原稿用紙4枚以内。

応募について詳しくはサイトでご確認ください。m-rotary.org



- 1 貧困をなくそう
- 2 飢餓をゼロに
- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 5 ジェンダー平等を實現しよう
- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 10 人や国の不平等をなくそう
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくる責任 つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさも守ろう
- 16 平和と公正をすべての人に
- 17 パートナリシップで目標を達成しよう